無理な農地の維持をやめて、良い農地に造り変えよう

誰でもできる、
自然栽培米
反収１０俵

農地が空かないようになんとかしよう！
これ、
未来の農家を潰していませんか？

空いた農地を早く埋めたい

　法人に依頼→空いた農地の中の条件の良い所だけやる→条件の悪い残った場所に新規就農者が入る→生活潰れる

大きいことする人から順に補助や助成金が出る仕組み（ポイント制など）

　既に大きな事できるお金のある人が補助ゲット→これから悪条件で始める、これからお金を稼がなければならない人には、お金いかない→日本の未来潰れる。

☆地域高齢者のために、外からくる若い人を利用している仕組みに、悪気なくはまり込んでいるのではないでしょうか？

☆ポイント制の助成金や補助金は、ポイント獲得のために大きな事をしなければならなくなり、必要以上の取り組みをする事になりやすく、大きな失敗を起こしやすくもなる。

**　枠内の資金を取り合う事になり、農家同士の仲が悪くなる要因にもなるような気が・・・。**

どうして若者が犠牲になってるような感じになるの？

理由の１つとして、

空いた農地をなんとかしよう←土地に焦点を合わせてしまっている

　農家じゃ幸せな生活送れないと思うから農家やめるんじゃ？→農地をなんとか埋めようとしても不幸な人を生み出すだけ→これを繰り返しては駄目

見つめるべきは、

どうすれば農家が幸せに暮らせるのか？←土地はその結果

　農地はそもそも人の生活の結果存在しているもの→農家がちゃんとした生活を送れて、喜んで農家ができるなら農地は空かない

☆**農地が空いて埋まらないなら、そこをそのままさせちゃ駄目ってことです！**

　駄目だから空くんだからそのままそこに人置いちゃ駄目！

だから、

良い農地に造り変えて、農家が喜んでやってくれる地域を作りませんか？

ち・な・み・に、
地域の人々・地主に農地の維持をさせ続けるのも良くありませんよ？

牧草植えてもらおう＝危険度☆

収量あまり気にせず機械作業→農地を駄目にする→物が育たない農地になる→ついに放棄田→次の人は育たない

地主に維持管理させよう＝危険度☆☆　苦しみ☆☆

高齢者が維持管理する→大変→楽にできる方法が必要＝楽にしないと苦しむばかり！

楽にする方法１：機械で土地を駄目にする

土地をだめにすれば草生えない→その後作物育たない→次の人は育たない

楽にする方法２：除草剤で土を駄目にする

除草剤撒こう＝どうせ二度とここで農作しないから→作物育たない土地→次の人は育たない

☆危険な除草剤の使用を無くすには、この状況の解決が必要！

じゃあもういっそ、維持管理やめましょうよ？

土を寄せて、草が生える面積減らしちゃ駄目ですか？楽ちん度☆

草が生える面積が減る→維持管理が楽になる→土は健康維持どころか良くなっていく

土をぎりぎりまで無くして、草の生えを減らしちゃ駄目ですか？楽ちん度☆☆

草の生えが減る→維持管理が楽になる→土を移動した先は良く育つ→あれ？何だか良くない？

☆駄目な農地は放棄して、良い農地を作った方が良いんじゃない？

☆でも実際に良い農地なんて作れるんですか？←田んぼはそもそも誰かが造ったんですよ？

☆良い農地ってそもそもなんですか？←経費が低く、楽に作物が良く育つなら良い農地じゃない？

☆自然栽培なんてものが、世の役に立つんですか？←楽にちゃんと育つなら、役に立つ！

☆だって成績悪いじゃないですか！！←田んぼがよけりゃ成績良いですよ？駄目なとこは駄目だけど。

☆自分がやっても育たんかったぞ！←あなたの事実を人に押し付けないでもらえませんか？

はい！

田んぼ造ってみました！

誰もやらない条件悪い２枚の水田を、１枚の良い条件の水田に造り変えてみました！

草取りやその他の管理もしてません。

田植え以降は、水を張りっぱなしにしただけです。

自然栽培米反収１０俵です。

稲は稲田に植えるんだから、

稲田がよければ良く育つんです。

☆「稲田」と、わざわざ言っているのがポイントです。

肥料高騰の心配はいりません

有機農業でも肥料の心配は必要なので、自然栽培容易な作物から、どんどん自然栽培に移行した方がいいのでは？

自然栽培で楽に育つなら、特別なことなく学校給食でも採用可能です。

１年しかやってないのに、自然栽培米１０俵なんて発表していいの？

いいんです！
何故なら、日本各地の自然栽培米農家が、

**　自然栽培で５俵穫れる水田であれば**
ちゃんと５俵穫れ続けるし、

**　自然栽培で８俵穫れる水田であれば**
ちゃんと８俵穫れ続けることを、

**　１０年・２０年を越える自然栽培の継続で持って、証明してくれています。**

けど、駄目な水田では成果が上がらないのも事実なので、良い水田ちゃんと作りましょう。（経験者がやっても農地によっては、右の様な結果もでます）

自然栽培米１０俵の水田を造る手順（手順は簡単）

やり手の無い農地は、思い切って放置→放置しやすい仕組みを作る

土が豊かになるように放置→一度は耕耘し、排水性を高める溝切などを実施しておく

土が良くなったら土の移動・圃場造り

この程度しか要りません。

それ以外として、取り組みが行いやすいシステムがあるとより良いです。

　例えば資金でいえば、ポイント制でなく、小さな工事額にも補助が出るように地域行政で組み立てる。

　その際、新しく予算を組むと物事が動きにくいので、今までも使えている予算をそれにも使えるようにしてもらえるだけでいい。（ハウス建てるなら補助出ますを、農地の工事を行う場合にも使えるようにします、といった程度でも全然動きやすくなります）

　とにかく、大きく物事を動かそうとして動きが起こらないよりも、小さく動けるところから、実行・実現した方が結局は実現が早いと思います。

【工事費に関して】
浅層暗渠を例に工事費が高くなりそうか、そうでないか考えてみよう！

浅層暗渠

１ヘクタール４００万円（２反で８０万円）（スムーズに工事が行える水田の場合）

水田の悪条件具合や水路の造りによって、この金額に＋αが加わる。

☆＋**αの例**

例１：額縁暗渠・額縁明渠が必要な場合

隣の水田から水が湧くなどの理由があり、先にその問題を解決しなければ、浅層暗渠に必要な作業がそもそも行えない場合。

額縁暗渠または明渠造りをして、それに加えて浅層暗渠を実施することになる。

例２：排水路の作り直し

もともとの排水路（道路沿いの溝）が深くない場合、暗渠からの排水を確保するために、水路を深く作り直す必要も出てくる。

５０㎝深く作り直した場合で、１ｍあたり２万円程度。

自分より下に、１辺３０ｍの水田１枚あるだけで、３０ｍ×２万円で６０万円。

つまり、**８０万円＋数十万円で２反を１反の良い水田にできるなら、工事費としては同額と考えてみることができる。**

【農地が半分に減るのは駄目なんじゃ？】
やらない農地がいくらあっても意味無くないですか？
半分になっても、喜んでやってくれるなら、そっちの方が良くないですか？

●面積の拡大は、もともと好条件の圃場が固まっている場合のみ有効

●悪条件の地域での面積拡大は、時給５００円しかないの？じゃあ２倍働けば？といっているのと変わらないかも？

●面積２倍にして所得・収入を増やそうは大事！

でも、時給がどうなっているかを、それ以前に見つめた方が良い気がするなあ？

（だって所得税は、そのお金をどれだけの時間働いて得たのか？は、考慮されていないんだから）

●農家でもって、ちゃんとした時給得られないから、農家やりたがらないのなら、解決すべきはそこだと思うのに・・・

●今のままの仕組みでいたって、結局農家はいなくなっていくでしょ？

例えば長門市役所に、うちの親農家ですって人がどのくらいいるのでしょうか？

そしてその人は、将来農家やるんですか？

☆**どうせやらないままになるのなら、半分のより良い農地にすれば良い！**

【ちなみに、工事費に関して】

過去にこんな仕事と、
工事を実施しています

過去に３枚の水田で２反の面積を、１枚の作土の豊富な水田と、溜め池にする工事を実際に行っています。

実施作業内容：

全面草刈り２回（刈り払い機で実施。石がコロコロしているため、ハンマーナイフは消耗が激しい。草刈りは適した場所を探るため、５反分８枚の水田に対して実施）

草集め・移動（翌年すぐに作付けしても健康な稲が育つように、嫌気発酵を避ける目的）

耕耘（土の水分具合の適期にゆっくり行う）

表面付近の石拾い（水田に石ころあったら、そりゃ邪魔ですもんね）

続き

バックホーの通り道確保作業

　目的の水田に至るまでの水田の作土を潰さないため

バックホーでの表土の移動

　土を多くとると土を固めるので、あまり多くすくわない。（また土の水分が多過ぎない時に行う）

ローラーがけ

　川に近い事と、長く水田に使用していない理由から、盤を固め直す。モグラの穴などは運んできた土で埋め固める。

畦用の土の運搬

　作土は畦には柔らかすぎるので、盤に向く土を使用。（別の場所でもバックホー・軽トラ利用。運搬車利用）

畦の強化

　作土を増やすので畦を高く、幅広く造り直す

表土の配置

　今回は今後何年継続するかもわからないので、明渠パターンの水田。（これにかなりの時間が掛かっています）

表土の移動→ローラー→配置の繰り返し

　表土の厚さ１０㎝を３０㎝目標に土を移動・配置

足りない表土を上の水田から移動

　バックホーでえっちらほっちら行った

続き

残りの表土の配置

緑肥播種

　すき込みはしないが、土の環境を整えるため

また、この時の生育具合で、稲が育つかどうかの判断もできる

苗代造り

　ポット苗前程だが、水の上げ下げで水やりを行えるようにするため

溜め池造り

　水の浄化・水温の上昇を兼ねるため、池内に畦を作って距離を伸ばし、性能を高める

☆苗代と溜め池は、この水田（水路全体として）に水を取れるのが、４日半に一回となっており、次の４日半後までの水の確保をするためにも必要であったから。

※水田の水、４日半に一回って・・・

完成

水が確保できるかの確認中の姿

☆畝の間は周辺の明渠より５～１０㎝高く、常に低い方へと水が動く仕組みになっている

☆畝をまたぐようにして田植え機が走る事を想定。

（昔の田植え機は、４０㎝の深さの表土にも対応していた）

☆畝の間は、草取りの作業用にもなる。

☆畝の間は、補植の際の通路にもなる。

※この取り組みはあくまで、水田をやめたいとなれば、スムーズにやめれるように考えて作ったもの。（依頼者が、農家でもなく、作業時間がスムーズに確保できる人でも無かったため）

※工事後すぐに稲を植えて、病気など無く無事に育つように、嫌気発酵させない・土を潰さない・土を練らない事をかなり気にしたので、工事に時間が掛かっている。

浅層暗渠工事と比較してみましょう

これまでに紹介した作業・工事内容で、人件費を時給2500円とした場合に、

機械レンタル代・燃料代・資材費もろもろ込みで１２０万円内に納まった。

ここから、圃場の工事以外の作業内容分の経費を抜くと、９０万円内くらいになります。

☆工事に必要な作業内容・時間は、圃場の水分保持力・作業期間の天候・必要な作業内容によって、変化する。

☆条件によってはこれよりも、安くもなる。

※時給の根拠：

　自分自身の仕事を全て放置して作業を行う状況であったため、日給２００００円として計算。

浅層暗渠は、先ほど８０万円＋数十万円くらいになりそうだと紹介させて頂きました。。

☆経費の面でもいいんじゃないかな～と思えるような気もします。

※畦を作り直す・盤を固め直す、池を造る・苗代を造るを除いて、排水の仕組みと土の移動だけですむ場合なら、もっと低くなるのは確実ですし。

☆これでも高いなら、もっと安くできる人を探せばいい。ちなみに、私が行った作業内容全て込みで、３０万円だと言ってた方もいます。

空いた場所はどうするの？

水が不足する地域では、水田減った方がいいんです！

水が足りないのに、全ての水田に稲を植えることなど、その地域の農家は望んではいません！

空いた水田で稲作復活しましょうなんてしたら、ホントは嫌がられるだけです！！

淡水魚・エビの養殖もいいのでは？

商売目的の養殖でなくても、趣味や家族の喜びとして生き物を放しているのもいいと思います。

水温を上げる目的に使えます！

寒い地域では、もともと上部の水田で水を温めてから、栽培用の水田に水を入れるなどしますよね。

宅地にすれば？

だってもともと農地やめて家建ったりするじゃないですか？

売ってしまって、工事費のプラスにしてもいい！

太陽光発電するので、農地売って下さい！に、売ってしまう。

そして、「**良い農地を造ろう**」というこの取り組みは、

農地が空く地域だからこそ、スムーズに進むのかな？と思います。

農家やめる・土地が空く！これが逆に山口県の希望かも？

是非、ご自分で皆さんでやってみてみませんか？

行政・国に意見を提出しても、それが動くとは限りません。

人に動いてもらうためだけに力を注いでいると、結局１０年経っても実際は何もできてなどいなかった・・・といった状況にはまり込んでしまうことだってあります。

特に市役所は、数年ごとに人事異動が必ずあるので、色んな事を動かしてくれる人が担当だったとしても、移動でそこには関われなくなります。

でも、市民の誰が見ても「こっちの方がいいよ、こうする必要があるよ」と感じられる物事に関しては、市長が変わっても・役所の担当者が替わっても、実行されますよね？

それこそ議員が何を言う・言わないに関係なく、実行・実現されます。

ていう事は、結局、農家一人一人、これが必要だこれが良いと思う一人一人がやってみせるのが、必要なのではないかなと思います。

広い面積をやる必要はありません。

バックホーをレンタルしたとして、そのレンタル期間１カ月の間に造れる大きさで十分です。

動かない人に文句をいうのはただの無駄です。それは他人を責めているだけです。

そのエネルギーを自分自身、または知り合いの方々と協力して実現することに、注いでみてもらえればと思います。

市議会の方・農林課・移住者への説明会

農業委員会への説明会